



2025.1

vol. 71

クーポラ

「はこだて」での生活をはじめませんか？

はこだて暮らし 拡大版



東京開催! 国内最大級の移住相談イベント「第20回ふるさと回帰フェア」への参加レポート!

函館市地域交流まちづくりセンターでは、移住業務を担当する「函館市移住サポートセンター」を併設し、函館へ移住したい皆さまの相談対応やサポート業務を行っております。

今回、9月21日・22日に開催された 認定NPO法人ふるさと回帰センター主催「第20回ふるさと回帰フェア」に移住サポートセンターのスタッフが参加してきました!

函館市のブースには相談者が後を絶たず、空席になることがありませんでした。来て頂いた皆さま、ありがとうございました!当日の様子をご紹介します!

「ふるさと回帰フェア」とは

全国からの670の自治体・団体が大集合し、担当者と「直接」移住に関する相談ができる国内最大級の移住相談イベントです。

フェアは今年で20回目を迎え、今回は初めて2日間にわたって開催されました。



▲回帰フェア 会場入り口



▶ 前日準備の様子

他都市の移住担当者との交流もあり、移住業務について貴重なお話を伺うことができました



ブースのセッティングは、お客様の目に留まるような飾りつけを心がけて…



1

▶ イベント当日

会場を上から撮るとこのように自治体のブースが並んでいました



函館市の法被を着てお迎え!



当日は移住サポートセンタースタッフのほか、市の移住や経済の担当者と共に仕事や助成金、函館の生活に関することに対してご相談を受けました。



移住パンフレットコーナーも設置されていました。ブースに立ち寄らずとも、各地のパンフレットを手に取り、持ち帰ることができます。

自治体のブースのほかに、移住初心者相談ブースもありました。移住をしてみたいけれど、まず何をしたらよいのか分からない方に回帰センターの移住相談員さんが相談に乗ってくれます。他にも、さまざまなテーマごとに講演会も開催。移住先で起業した方などの話を聞くことができました。

物販のスペースも! 各地の名産品を購入することができます。



他都市ブースの様子ディスプレイの仕方が大変参考になりました。



どさんご交流テラス

函館に直接お越しいただくのが難しい方は、東京・有楽町「ふるさと回帰支援センター」内の北海道移住相談窓口 北海道ふるさと移住定住推進センター「どさんご交流テラス」にお問合せください。

【問合せ】 ☎ 090-1541-0011

メール ✉ hokkaido1@furusatokaiki.net

はこだて暮らし拡大版はウラ面(2P)に続きます▶

「はこだて」での生活をはじめませんか？

はこだて暮らし 拡大版

函館市移住サポーターのご紹介



「函館市移住サポーター」とは

これから函館に移住したい人、すでに移住した人の相談に応じる移住専門のサポーターです。こちらは2024年4月から始まった、函館市が委嘱する新たなサポート制度です。移住前は函館での生活がイメージできるように、移住後は函館での生活がより充実したものになるようにお手伝いいたします。

ご相談したい方は、まずはページ下部の函館市移住サポートセンターまでお気軽にお問合せください。



たご なおこ
田胡 直子 さん

- 出身 / 群馬県
- 職業 / 南茅部地域おこし協力隊
- 移住年月 / 2023年12月

函館に移住したきっかけ
南茅部地域おこし協力隊に着任したため。

函館の好きなところは
風光明媚なところ。縄文好きにはたまらない！
国宝「中空土偶」がある南茅部と
榎法華・恵山・戸井の東部地区



函館への移住を検討している人へのメッセージ

本州から北海道へ移住を決めるためには勇気と時間とお金がかかりますが、青森までは最短で1時間で行くことができます。本州にいる家族・親戚にもし何かあったとしても、函館からは飛行機・新幹線・フェリーなどがあってアクセスが便利のため、その日のうちに駆け付けられる！これは大きなポイントだと思います。



つくま ともえ
津熊 智江 さん

- 出身 / 広島県呉市
- これまでの住まい / 大阪、奈良、海外居住
- 移住年月 / 2019年4月

函館に移住したきっかけ
旅行で訪れて気に入ったため（かつて暮らしていたアメリカのボストンの街並みに似ていたことも理由）。

函館の好きなところは
海と山に囲まれた歴史のある港町で、新鮮な食が豊かなところ。新幹線駅や空港にも近く、本州に住む家族との行き来も便利。北海道らしい四季の移ろいも。



2024年6月のまちセン茶論にご夫婦で参加！

函館への移住を検討している人へのメッセージ

医療・介護、教育機関が整っている。住居費も安い。札幌や旭川に比べて温暖な気候で、降雪も少ない。

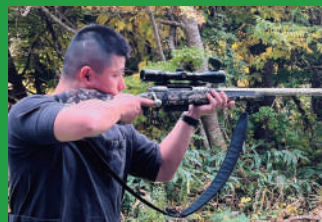


ほうじょう そうし
北條 壮史 さん

- 出身 / 神奈川県
 - 職業 / 元警察官(山岳救助隊) → ハンター
- 現在はジビエを扱う会社「熊鹿庁」代表、
榎法華のまちおこしグループ
「RISEMAN(ライズマン)」代表
- 移住年月 / 2023年2月

函館に移住したきっかけ
妻の故郷「榎法華地区」で過ごすことに魅力を感じたため。

函館の好きなところは
歴史も深く、山や海の織り成す大自然もあるところ。生活も仕事もしやすいし、温かい人が多く、大好きです！可能性しかない！



集中力を必要とするハンター活動

函館への移住を検討している人へのメッセージ

若い世代への各種サポートも充実しているので移住は比較的しやすいと思います。また、函館で何かを始めたいという方や新規事業に対する支援も手厚いですし、季節ごとに開催される多種多様なイベントのおかげで飽きが来ない街であることも魅力です。



やぎの そうた
八木野 創太 さん

- 出身 / 新潟県
- 職業 / 不動産業・宿泊業・飲食業等を兼務
- 移住年月 / 2019年

函館に移住したきっかけ
前職の転勤先が函館だったため。歴史や文化、自然を身近に感じられる函館の街並みに魅力を感じて。

函館の好きなところは
街と自然が近く、様々な表情がある地域であるところ。函館ならではの景色、音、匂い、味があり、五感が刺激されます。



書道家としても活躍

函館への移住を検討している人へのメッセージ

函館を居住地として検討いただきありがとうございます。函館は観光地として有名ですが、住んでみると本当の函館の滋味深さに気付くことができますよ。



移住サポーターに相談したい方は、相談日時の調整を行いますので、函館市移住サポートセンターまでご連絡ください！

移住サポートセンター(函館市地域交流まちづくりセンター) ☎ 0138-22-9700

場所 / 函館市末広町4-19 (アクセス) 市電「十字街」電停より徒歩1分 ★駐車場あり(2時間無料)

開館時間 / 9時～21時(年末年始を除く)

休館日 / 年末年始(12/30～1/3) ※機材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。



ホームページ



移住サポーター特設ページ



活動
団体

こどもが安心してのびのびと過ごせる場所を目指して
～ 一般社団法人チャイルドチア道南（こどもの居場所「いーとの家」）～

学校や家庭でもない、もう一つの居場所を作りたいという思いから、2023年8月に法人を設立し、「こどもの居場所『いーとの家』」の運営を行っています。「いーとの家」は土日を含む週5日、子どもたちが自由に宿題や勉強に取り組めるスペースなどを無償で提供している施設です。学校が休みの日は子ども食堂を開いたり、地域の団体や企業と協力した様々なイベントも開催しています。

もともと当法人のスタッフが、2023年3月末まで北斗市にあった「しゅくだいカフェ@北斗」で勤務していましたが、経営上の理由で閉鎖することになり、今までのノウハウを活かした、新たな施設を函館で開設しようとしたことが活動のきっかけです。

「いーとの家」を運営する上で大切にしていることは、子どもたちの自主性を尊重することと、寄り添うことです。職員とボランティアスタッフは、常に子どもたちと一緒に過ごし、子どもたちにとって安心できる居場所づくりを心がけております。今では1日に15～20名の子どもたちが施設を訪れてくれるようになりました。これからも施設を継続して運営できるように、活動を続けて参ります！

ご利用を希望される方は、施設に登録していただく必要がありますが、どなたでも無料で登録いただけます。まずはお気軽にご相談ください。



さあ、スイカ割りやるよ～



今日の子ども食堂のおかずは何か？

一般社団法人チャイルドチア道南
（こどもの居場所「いーとの家」）

代表者／平澤 修
職員／4名 ボランティアスタッフ／29名
対象者／小学生
場所／（いーとの家）北海道函館市大川町8-20
問合せ／0138-76-7721

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
10 人や国の不平等をなくそう	12 つくる責任 つかう責任	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナシップで目標を達成しよう

ホームページ

facebook

Shop Information

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- * 営業時間／10:00～15:00
- * 定休日／土日祝日・施設休館日
- * 授産製品を扱っています。



函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

👉【オススメ】布ぞうり 1,000円～1,500円（税込）
浴衣生地で作られたカラフルな布ぞうりは、いつも大人気。洗濯機で洗うこともできます！

1F 喫茶コーナー Cafe DripDrop

- * 営業時間／10:00～17:00（変更の場合あり）
- * 定休日／水曜日・施設休館日
- * 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか？



営業時間など最新情報は
お店のSNSをご覧ください▶



👉【オススメ】
ホットジンジャーエール 500円（税込）
北斗産の生姜でシロップを仕込みました。
からだの中から温まります♪

2024年9月28日(土)

はこだて防災マルシェで防災意識を身につけました

函館市女性会議主催「はこだて防災マルシェ2024」がまちづくりセンターで開催されました。4回目となる今回は、初めてまちセンも共催として参加。センター全体を使って、災害救援車や防災食の展示、高所作業車の乗車体験コーナー、炊き出し体験などが行われ、防災に関する展示やイベントが盛りだくさんの1日でした。

災害を自分ごととして意識し、災害の怖さ、防災の大切さを改めて感じることでできるイベントでした。



▲ブログ



▲北海道電力ネットワーク 高所作業車の乗車体験

2024年9月30日(月)

市立函館高校「地域探究学習」の受け入れを行いました

市立函館高校の1年生5名が「地域探究学習」の一環として、まちセンにお越しになりました! 高校生がこの学習を通して、地域の現実や未来に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を育てることが目標とのこと。当日はセンター長が「函館の歴史資料(古地図・古写真など)を読み解いて、その奥深さを伝える方法を考えよう!」というテーマで講義を行いました。その後、学生の皆さんには講義を踏まえて、函館の歴史資料を活用したアイデアやPR方法を検討の後、発表してもらいました。

若者ならではの柔軟な発想からくるアイデアは大変参考になりました。



▲ブログ



▲ポスターを使用している発表の様子

4

2024年10月19日(土)

日本郵便年賀寄付金助成金説明会を行いました

まちセン市民活動団体向け助成金活用講座「日本郵便年賀寄付金助成金説明会」を行いました。2024年5月に開催した「トヨタ財団国内助成プログラムの公募説明会」が好評だったことから、助成金説明会の第二弾としての開催です。函館で日本郵便(株)の年賀寄付金助成金説明会を行ったのは今回が初めてで、多くの市民活動団体やNPOの方にご参加いただきました。

当日は日本郵便(株)の竹山さんより、助成金の内容をはじめ申請書作成のコツなどの説明のほか、個別相談にも応じていただきました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました!



◀ブログ



▲説明会の様子

【発行】函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19 TEL. 0138-22-9700 FAX. 0138-22-9800

開館/9:00~21:00

休館日/12月30日~1月3日

このほか器材点検のため月1回程度
臨時休館する場合があります。
詳しくはセンター内やWebで
お知らせしています。



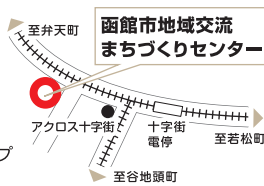
<https://hakomachi.com>

MAP



建物裏手に
駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者/
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月~)



まちづくりセンター公式
YouTube チャンネル



公式WEB

まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する
問い合わせなど、お気軽にご相談ください

- ◇函館市役所1F ◇亀田支所 ◇湯川支所
- ◇銭亀沢支所 ◇戸井支所 ◇恵山支所
- ◇樞法華支所 ◇南茅部支所 ◇函館市中央図書館
- ◇渡島総合振興局 ◇亀田交流プラザ
- ◇函館市企業局アクロス十字街
- ◇総合保健センター ◇函館市市民会館
- ◇函館アリーナ ◇函館市公民館
- ◇函館市女性センター ◇函館市青年センター
- ◇函館コミュニティプラザGスクエア
- ◇函館市青少年研修センターふるる函館
- ◇中島れんばいふれあいセンター ◇サン・リフレ函館
- ◇函館市総合福祉センターあいよる21
- ◇どさんご交流テラス(東京・有楽町)

「はこまち通信クーパー」に関するご意見、ご感想をお寄せください。
HPにメールフォームがございます

次号は3月末発行予定です(年4回)

